

A. A. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学受験の時点で留学制度がある大学を志望していたのですが、第一志望の大学に落ちてしまい、本学に入学してから留学方法を見つけたのがきっかけです。洋画や洋楽が好きであったことから海外に興味はあったものの、当初は漠然としたアメリカ留学への願ひしかありませんでした。しかし、過去の先輩方の留学報告動画やレポートを沢山拝見していく中で、自分自身がアメリカで勉強したいことや留学へのイメージが徐々に明確になりました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

出願過程に必要な英語資格は IELTS で取りました。長文を書くのが苦手であったため、筆記部門で論理的かつ必要最低限の英作文が必要な IELTS が私に合っていたからです。私は 5 回分のテストの過去問を繰り返し解き、間違った問題の理由を毎回説明できるまで理解に努めました。語彙に関しても、IELTS 用の英単語集 1 冊をできるだけインプットしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

英検準一級を留学までに取得することが目標だったので、隙間時間に英単語学習を行いました。YouTubeなどで配信されている英語のニュースを普段から聞くようにしてモチベーションを保ちました。留学前に準一級を取得できたことは自信に繋がりました。

◆ ビザ申請方法

ウェブサイトから全て自分で行いました。ビザ申請を自分で行っていくうちに留学への実感が少しずつ湧いてきたので、それも自分でやってよかったと感じています。

◆ その他

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

羽田空港から LAX までの直行便を手配しました。最初は LA の知り合いの家に滞在したので、送迎はホストファミリーがしてくださいました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

分からない事や疑問はその場で聞いて解消するようにしていました。新しい環境で初めて会う人と生活を共にするというのは楽しい反面、慣れるまで少なからずストレスは溜まる

ものなので、少しでも不安なことがあれば声をあげ、自分にとって楽な環境を構築しました。

◆ その他必要な諸手続き方法

手持ちの現金と VISA カードで全て支払いを行ったので、現地での口座開設は行いませんでした。保険に関しては留学前に国際課から案内があり、しっかりとした説明のもとで加入することができます。Chatham、Mary Baldwin University の語学研修費及び寮費は、現地でクレジットカード払いをするか指定の口座に送金することができます。クレジットカードだと手数料の負担が大きいので送金をお勧めしますが、渡米前に必要な手続きがあります。（私は MUFJ を利用していたので、海外の口座に入金するのには渡航前に手続きが必要でしたが、ご利用の銀行機関によって違う可能性があるので事前に問い合わせる事をお勧めします。）

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

Chatham University で夏の ESL を受講しました。キャンパスは比較的綺麗で、寮から教室まで徒歩 5 分もかからずとても便利でした。大学の図書館は 24 時間空いているので、夜遅くまで勉強できます。ジムも徒歩 5 分以内でつくので、授業後はよくジムにも行きました。また授業教室の目の前にコモンプレイスがあり、そこで紅茶やコーヒー、スナックを食べることができたので、午後の授業前にはみんなでコーヒーを飲んでいました。

◆ 授業内容、課題、試験

非常に楽しかったです。毎週金曜日はフィールドトリップなのでダウンタウンに出かけてお祭りに行ったり、美術館や博物館、ストリップディストリクトという週末は朝からにぎわう地域に遊びに行ったりと、ピッツバーグの観光スポットから文化まで楽しく学ぶことができました。課題は毎日ありましたが、授業が 3 時頃終わってから夕食前には終わらせることができるほどの量でした。最後の研究論文は大変でしたが、教授のサポートのおかげでやり切ることができました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

Mary Baldwin の秋セメスターに参加しました。非常に田舎だったので緑豊かでした。寮はトイレとシャワールームは共有なので各部屋にはありませんでした。私達留学生は新入生寮に部屋を用意されていたので、12 時を回っても騒がしいことはよくありました。

◆ 履修科目について

• **Mass Communication**

メディアがどのように発達していったのかを時代背景とともに学び、ゲストスピーカーとして、実際にメディアで働いている方からメディアのリアルを聴く機会もありました。毎週課題が出ますが、課題に対するディスカッションや自分の考えをシェアする事が基本なので難しくありません。自分でメディアに関する論文を書き、発表することが最終試験でした。しっかりと教授のアドバイスを聞きながら進めることができました。

• **Marketing Principle**

毎授業、最初の 10 分間で小テストを行います。範囲は毎時チャプターで区切られており、理解しておかなければいい点数は取れません。基本的なマーケティングの知識を、教科書として扱う本に沿って学びます。中間テストや期末テストは、これまで小テストで出た問題をしっかり復習しておけばできる問題でした。

• **Sustainability & Business**

ペアワークが多かった印象です。ペアになってサステナビリティを取り入れている企業のプレゼンテーション、ゲストスピーカーを招くこともありました。毎週課題は出されますが特別大変ではありません。一番大変だったのはプレゼンテーションに付随するレポート作成でしたが、教授からのアドバイスもいただけます。

• **Social Media**

授業が終わるまでに 3 つの決められたお題に対するプレゼンテーションを行いました。自分で日程を決めることができるので、自分のペースでプレゼンテーションを行うことができます。基本的には毎授業誰かの発表を聞くのがメインで、残りの時間で教授の授業を受けます。週に一回の月曜日 18 時から 20 時半までが規定だったのですが、毎授業 19 時には終わりました。

• **Introduction to nonprofit management**

非営利団体の経営を基礎から学びました。毎時間チャプターに沿って授業が進むので、しっかり予習しておくことが一番大事です。週に一回、非営利団体に関するニュースの記事をまとめる課題がありますが、慣れてくるととても面白いです。ダウNTOWNに行つて実際に非営利団体のサポートを行う活動もあり、非常にやりがいのある科目でした。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

特にありません。

⑧ **現地での住まいについて**

◆ **正規科目履修期間**

• 語学研修期間

部屋にトイレもシャワールームもついていました。食事はミールプランに入っていなかったもので自炊をしていました。少し歩けばご飯屋さんもたくさんある、とても立地の良いところにキャンパスがあるので、過ごしていてとても楽しかったです。

・ 正規科目履修期間

2 人部屋の寮でした。トイレとシャワールームは階の寮生全員共有でした。同じ大学の子がルームメイトでした。食堂か大学のカフェで食事をしますが、カフェは夜遅くまで空いているのでとても便利でした。

⑨長期休暇の過ごし方

夏の語学学校と秋の正規授業間のギャップは、ニューヨークにエアビを確保し、2 週間ほど滞在しました。また知り合いの家にお世話になりました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

ボストン・キャリアフォーラムにルームメイトと行きました。課題やテストに追い込まれていた時期ですが、内定をいただくことができました。ボストンに行く機会にもなりまし、レベルの高い学生に出会えるので、圧倒的に行ってよかったと思います。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

異なるバックグラウンドの人々に会うことがほとんどで、自分の中の価値観を変えられ、人生において非常に貴重な経験であったと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

まだ英語を話すことに慣れていなかったときに、自己主張に時間がかかった点がとてもストレスでした。しかしそれが無ければ英語は伸びなかったと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

清潔感はないことを覚悟はしていましたが、やはりそこには少し驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

Chatham 大学は近くにスーパーや飲食店がたくさんあったのでとても便利ですし、コンサート会場も電車で 30 分ほどの距離にあり、語学学校として十分にピッツバーグの良さを感

じることができました。Mary Baldwin はとても田舎だったので遊びに行く場所もなく、勉強に適した場所だと感じます。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

各大学にパソコンの貸し出しがあるので必須ではありませんが、貸し出しの時間や場所に左右されない点で私は持って行ってよかったと思います。だしスープの粉も自炊をするときに非常に役立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

圧倒的に話す力と聞く力が伸びたと実感しています。留学前に英検準一級は取得したものの、現地に行って使える英語と資格英語は全く違うと感じました。しかし、英語の基礎が頭に入っている点が留学期間における英語の伸びを助長したのではないかと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

今、迷っているのであれば絶対に行くことをお勧めします。4年間しかない大学生活を充実させるのはもちろん、人生の糧となる貴重な期間であったと強く実感していますので、是非挑戦してください。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

現在私はオンラインでの就職活動を進めています。商社業界を中心にしていますが、今後のキャリアにおいてもこの留学生生活を活かすことのできる仕事をしたいと考えています。

V. 写真



1. NY に滞在した際ブロードウェイの卵が歌うお店に行った時の写真です。ブロードウェイを見た次の日に行ったのですがお客さんとの距離が近くて臨場感あふれた飲食店でした。



2. ピッツバーグの語学学校のメンバーで遠足に行った時の写真です。毎週金曜日はピッツバーグの文化を学ぶとてもいい機会でした。



3. 姉が誕生日旅行で NY に来た時の写真です。夜のタイムズスクエアが一番 NY を感じさせました。



4. Mary Baldwin の留学生でワシントン DC に行った時の写真です。電車で 2 時間ととても近かったです。



5. ハロウィンパーティで仮装したときのインド人の友達の写真です。クレオパトラの仮装をした彼女が帰っている際にたまたまキングを見つけました（笑）